



幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS [党員限定版] 第52号

新春を迎え 謹んで新年のご挨拶を申し上げます
幸福実現党は 日本を強く 豊かにするために
全力を尽くしてまいります



2014年 幸福実現党が 日本の誇りを取り戻す

安倍政権の経済政策アベノミクスによる株価の上昇など、日本経済の復活に向けて明るい兆しが見えています。しかし、外交情勢に目を転じれば、世界第二位の軍事予算を背景に覇権主義を推し進める中国 反日外交をエスカレートさせる韓国など、日本を取り巻く状況は厳しさを増す一方です。

中 国が尖閣諸島上空を含む東シナ海に防空識別圏を一方的に設定したことに伴い、尖閣をめぐる日中間の緊張が高まっています。

国防強化、待ったなし

2010年の尖閣諸島沖漁船衝突事件以来、中国公船による領海侵犯も常態化していますが、中国の不当な領土要求に対して、日本は領土・領海・領空の守りを真剣に考えなければなりません。

外交・防衛問題は選挙で有利に働かないため、既成政党は国防強化に及び腰でしたが、わが党の主張する方向へと世論も傾き、現在、安全保障問題を重視する安倍政権が衆参両院で安定多数を獲得するまでになっています。

国防強化には一刻の猶予も許されず、憲法改正が急務です。しかし、国内外の反日勢力の抵抗もあり、高い支持率を誇る安倍政権で

あっても踏み込んだ対応ができず、ややもすると“絡め手”からの対応が目立ちます。

国益を損なう「河野談話」

反日勢力を勢いづかせ、また国防強化の足かせとなっているのが、1993年、宮沢内閣で官房長官を務めた河野洋平氏が発表した「河野談話」です。従軍慰安婦の強制連行に日本軍が関与したとする同談話に基づき、世界で誤った歴史観が流布され、日本の国益を損ない続けているのです。

これまで、韓国によるロビー活動を受け、米国の複数の州議会などで立て続けに慰安婦問題に関する対日非難決議が採択されているほか、昨年7月には、米カルフォルニア州のグレンデール市で、在米韓国系団体の主導により慰安婦像が設置されたことが大きく報道されました。慰安婦像の碑には、旧日本軍が20万人以上の女性を強制的に「性奴隷」にしたとの表現も見られますが、事実無根も甚だしく、決して看過できません。

そもそも、旧日本軍が女性を慰安婦にするために強制連行したことを示す当時の記録は発見されおらず、最近では、河野談話の根拠となった韓国元慰安

婦の聞き取り調査がずさん極まりないものであったことが明らかとなっています。

日本に誇りを取り戻し、「国民の生命・安全・財産を守る」という国家として当たり前の姿に立ち返るために、私たち幸福実現党は2014年、「日本の誇りを取り戻す」キャンペーンに取り組みます。その一環として、年初から2月11日の建国記念の日にかけて、「河野談話」の白紙撤回を求める署名」呼びかけます。

「大川談話」で、日本の新生を

今後、憲法改正や、国防軍の創設を視野に入れるのであれば、歴史認識の見直しを避けて通れないのは明らかです。安倍晋三首相には、大川隆法総裁による「大川談話—私案—」をもとに新たな談話を発表し、正しい歴史観に基づく日本の姿勢を明らかにするとともに、自虐史観の払拭を図るよう強く求めます。

戦後70年の節目の年となる2015年を前に、私たちは日本の誇りを取り戻し、世界の平和と繁栄に貢献する国家へと新生を図らねばならないのです。

「日本の誇りを取り戻す」
従軍慰安婦の強制連行はなかった
キャンペーン実施中

署名用紙は党公式ホームページからダウンロードできます。署名は党本部にて取りまとめ、2月下旬に内閣府を通じて内閣総理大臣宛てに要請を行う予定です。

幸福実現党 検索 hr-party.jp

署名用紙は、2月15日(土) 必着で党本部に送付ください。
幸福実現党本部 | 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-8 電話 03-6441-0754

多くの皆さまのご協力をお待ちしております!

「大川談話—私案—」を収録

日本の名誉と国益を失墜させた謝罪談話。その根拠が崩れた! 談話作成の驚くべき真相を明らかにする“衝撃”の一冊。

大川隆法著
発行/幸福の科学出版 1,470円(税込)

——ラビア・カーディルさんは、どんな女性でしたか

対談を始めようとソファに座った途端、ラビアさんは初対面の私の手を握り、ニコリと微笑まれたんです。



ラビアさんの自伝に、監獄で拷問を受けた瀕死のウイグル人青年が、同じ獄に入ったラビアさんの存在に気づいて、「アッサラーム・アライクム、私のお母さん、

どうしてここに來たのですか?」と苦しい息で語りかけたことがあります。悲しみの底を打ち抜いたような慈しみを感じるとともに、ラビアさんを民族の母たらしめ、象徴としてのリーダーシップを発揮させるのは、この人格の力なのだ痛感しました。

——10月下旬には、天安門でウイグル人男性による車両突入事件が発生し、ウイグルでは12月に入ってからも、警官隊との衝突で住民14人が射殺されています

天安門での事件は、ウイグル人男性が70歳の母親、妊娠4カ月の妻を連れての悲劇的な死でした。ラビアさんによれば、この行動は「中国共産党によるウイグル人への限度を超えた迫害を、全世界に知らせるのが目的だったと思う」とのことでした。

中国はウイグルの言語やイスラム教を弾圧し、文化を徹底的に破壊するほか、漢民族の入植を進めてウイグル人の土地を奪い、この10年間に30万人ものウイグルの未婚女性を中国本土に強制連行しているといえます。さらには弾圧を正当化するために、ウイグル人をテロリスト呼ばわりしているのです。

ラビアさんは、「私は64年間、中国共産党がやってきたことを見てきたが、嘘をつくこと、人々を殺すことしかやっていない」と断言しました。

——ラビアさん自身も、6年もの間、収監されていました

一番つらい時期、ラビアさんを救ったのは「信仰」でした。「刑務所の中でアッラーと会話できなかったら、この世に生きていなかった」とラビアさんは言います。

「『アッラーよ、私をここから出してください』『民族のために、何かできる力を私に与えてください』とずっと祈っていました。そして今、自分の願ったことが実現しつつあることに私は驚いています」

その言葉に私は胸を打たれました。先ごろ亡くなった南アフリカのネルソン・マンデラ元

幸福実現党 党首
釈量子



1969年、東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。大手家庭紙メーカー勤務を経て、1994年、宗教法人幸福の科学に入局。常務理事などを歴任。幸福実現党に入党後、女性局長などを経て、2013年7月より現職。
<http://shaku-ryoko.net/>

自分の中に眠る「魂の力」で闘う

12月3日、釈量子党首がワシントンDCでウイグル民族民主運動指導者であるラビア・カーディル氏と対談しました。中国によるウイグル弾圧の実態に始まり

信仰の意味、日本への期待まで多岐にわたった対談を通じて感じたこと、考えたこと——。釈党首に聞きました。



世界ウイグル会議総裁
ラビア・カーディル

1948年、東トルキスタン（現・新疆ウイグル自治区）生まれ。起業に成功し、中国十大富豪の一人となり、人民政治協商会議員などを歴任。しかし、江沢民国家主席（当時）を前にウイグル人の窮状を訴えたことから公職を解かれ、99年、「国家機密漏洩」などの罪により逮捕、6年間投獄される。2005年、米國に亡命。現在は世界ウイグル会議総裁として、ウイグル民族の民主運動を主導している。

大統領もそうですが、苦難の時を神と共に乗り越えた人の特徴は、神の願いを実現するために、自らが神の手足になろうとすることにあると思うのです。

——日本にはどんな言及がありましたか

「日本はアジアで最初にできた自由と民主主義の国であり、アメリカが世界で力を発揮しているように、日本はアジアで自由の力、民衆の力を発揮してほしい。そして多くの国々は、日本が中国の覇権を食い止めることを期待している」と、アジアのリーダーとして、日本が果たすべき役割について指摘がありました。



自らの行為を、他人や他国が真似てもよいかどうか。これを問い続けることが、リーダーの条件であると私は考えます。世界ナンバー2の国となった中国には、リーダー国家としての資格はありません。それはこの国の価値観が、「マルクス共産主義思想」「唯物論」にあるからです。そこには人間の尊厳など生まれず、肅清と殺戮の嵐が吹き荒れることとなります。中国が言う「世界新秩序」とは、地獄の拡大にほかなりません。

人間としてのすべてをかけて闘っているラビアさんを前に、私が強く触発されたことは「魂の力」でした。社会が複雑化し、専門分化した日本では、派閥の勢力バランスや選

挙の勝敗を元に政治が行われています。しかし、本来の政治が「可能性の芸術」と言われる創造的なミッションであるならば、それが実現できるかどうかは、「魂の力」にかかっているのだと感じました。逆説的ではありますが、中国という唯物論国家がもたらす禍によって、私たちの中に眠る「魂の力」が目覚めるのかもしれない。

政治に携わる人間が、愛や悟り、認識力といった全人格をかけた闘いを挑まざるを得ない時代が、もうすぐやって来でしょう。文明の転換期にあって、私たちは普遍的真理の立場から、日本の、世界の進むべき方向性を指し示す存在でありたい。2014年の幕開けに際し、決意を新たにしています。

FACT 釈党首とラビア氏の対談の様子は、ネット・オピニオン番組「THE FACT」でもご覧いただけます。

娘よ、反日・親中戦略をやめよ！
中国は2020年までに崩壊する！
現大統領の父である朴元大統領が霊界から緊急メッセージ

幸福の科学グループ創始者 兼 総裁
幸福実現党創始者 兼 総裁

大川隆法

公開霊言

韓国 朴正熙 元大統領の霊言

父から娘へ、
真実のメッセージ

